

刊日
 定價 一月五圓 三月十五圓 半年三十圓 一年六十圓
 廣告費 第一版 每行五圓 第二版 每行四圓 第三版 每行三圓
 日曜祭日の日休刊
 發行所 常磐毎日新聞社
 印刷所 常磐毎日印刷株式会社

牢獄と蜘蛛と

こうろぎ 九
 白土五郎

寒い、冬が訪れる、蟻は何處かにか姿を消してしまふ。十二月卅日の午後であつた。牢獄でも正月が来ると云ふので大掃除だ。室を隅から隅と掃く、とどこからとなく一匹の蟻がピンと飛びついて来た。「オヤ」と早速捕へて見ると蟻公と一寸違ふてゐる。よく見ると「ヤマドウマ」と云ふ蟻公科の一種だ、長いシゲをビク／＼と動かして手の掌に乗つてゐる。今時分おかしいね、こんな寒くなるまで生きてゐるなんて可愛想だから温めてやらうとしたが掃除中なので袋に入れて棚の上にあげて置き掃除をつけた、そしてなんだかんだとやつてゐるうちに虫のことは忘れてしまつた。それに正月には本を澤山借りて讀むことが出来るのでその方ばかり気がとられてゐて、三十一日から讀書に熱した、正月三日の午後、フト、蟻公のことを思い出して袋を開けて見ると可愛想に「カアドウマ」

はしからびし死んでゐた。正月も過ぎ彼岸も去り櫻の花が咲く頃、土の中に眠つてゐるこうろぎ公に左様ならを告げて、仙臺の刑務所に廻された、監房から外を見て、前には高い長堤があるので嬉しくなつた、こうろぎ公が澤山居ると思つたからだ。夏になつた、

- 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
- 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
- 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
- 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

【朝】味噌汁、卵の花入り
 小付 紫蘇梅干
 【晝】トマトケチャップ御飯
 小井 大豆煮付
 【晩】すきやき鍋(牛肉 葱 豆腐) おろしあへ(白 須干 もみのり)

仙臺の夏も暑い、七月卅日の晩、高々となくこうろぎ公の初聲、ガバと飛び起きて静座してその聲を聞く。大阪のこうろぎ公も、高松のこうろぎ公も、仙臺のこうろぎ公もその聲は變らなう。ジ ジジ ジジ、と。ただ一匹で鳴くのであつた。次の朝から二三匹になつた。そして何時の間にか、長堤に、花畑に、毎夜合唱する、昨日、一匹のこうろぎ公がどこからか俺の室に這入つて来た。黒褐色の頑丈な體格と平坦な顔、シゲを動か


かし、弾力性のある太足でピンと躍る、俺は嬉しくなつた、こうろぎ公よ、親友にならう、さあ、おちかつきにと、麥を三粒與へたすると、おとなしくチビリ／＼と食ふてゐる、食いあさると、桶の下に行つたり便所の方に行つたりしては時々、ジツ、ジツ／＼と鳴くがまだ本格的には鳴かない、そのうちに馴れると鳴いてくれるだらう。牢獄に來てこうろぎ公の鳴く聲を聞くこと早や六年、明年は自由の身で自由にこうろぎ公と遊ぶことが出来る。こうろぎ公よ、鳴いておくれ。

こうろぎ公と蜘蛛の死

こうろぎ公は毎夜々々鳴いてくれる、曉のこうろぎの鳴聲は熱苦しい獨房に涼しい気分を送つてくれ、俺の心を優しくしてくれる、ある朝、こうろぎは何時のやうに鳴かない、あてにしてゐた氣持ちで、どうしたのかと起て見ると、哀れなり可愛想にこうろぎは、汚水カメの中に落ちて土左衛門になつてゐるではないか、俺は室の中に置いたことが罪なことをしたと悔ひざるを得なかつた。

是非！
 御融通には御用命下さい
 萬事便利な御相談に應じます
 三井質店
 平。四電六〇六番

喜多流 喜曲と仕舞の
 お稽古をお奨め致します
 平町田町六九
 喜多流 舞曲白土會
 電話一二七番



レストラント 平會館
 電話624

内科 小兒科 花柳病科
 藤沼醫院
 平町紺屋町 電話五〇七番

福引景品付大賣出し
 期間 十五日ヨリ二月十五日迄
 放送局認定高級ラヂオ
 ベリー二七型四球マツダ真空管付
 一臺三十圓 初回十圓
 二四型四球マツダ真空管付
 一臺四十二圓 初回十五圓
 一等：五圓勸業債券 二等：美術置時計
 三等：電氣スタンド 四等：自轉車ランプ
 特 一晝夜引込線無料(但しメーター需要家は實費)を戴きます 2電燈會社の試験料無料 3放送局聴取加入金一圓負擔
 常磐電機商工組合員
 研 町 石田電氣工業所 小名濱町 長山電氣商會
 四 町 磐城工業商會 仲 町 松村電氣商會
 二 町 日東商會 警 町 古山ラヂオ店
 白 町 東光商會 白 町 藤浪電氣商會
 驛 町 富永ラヂオ店 鎌 町 佐藤電氣商會
 三 町 大谷時計店 新 町 木村電氣商會
 土 橋 瀧川電機商會

一齒科一般 保存科補綴科 繼續架
 工科 齒列矯正科 小兒齒科 齒槽膿漏科
 一口腔外科 一レントゲン科
 中野齒科醫院
 平町田町(松月堂向ヒ) 電話五〇九番
 院長 日本齒科 醫學士 中野 惠次
 日本齒科 醫學士 西 川 誠

外科 花柳病科 專門
 木村外科醫院
 電話三〇九番
 自放入院の便あり 平町六丁目橋際

平小鐵道は

湯本迂回線決定か

湯本及び綴驛を大改築

庶民金庫

昨日總代會

既報平小鐵道並にガソリンカーの運轉を控へ平保線區では綴湯本兩驛の改築を行ふべく豫てより準備中であつたが一切の設計が出来上つたので先づ綴驛から工費九千圓で今日中に着手、三月卅日迄に現在の平屋百九十五米を二百八米に改築し更に湯本驛は工費一萬二千餘圓で來月二日着工、三月三十日竣工の豫定で同驛は現在の木造平屋二百八十三米を木造二階建一部平屋の三百三十三米に改築され兩驛舎共にルネッサン式モダンな驛舎となるが右の改築は平小鐵道の湯本迂回が決定した結果ではないかと注目されて居る。

平庶民金庫は昨日午後二時より總代會を開き組合長諸橋久太郎氏店長席に着き財産目録、貸借對照表、損益計算書、事業報告、剩餘金處分其他の議案一切を異議なく議了したが剩餘金七千五百九十圓四十七錢の處分左の如くである。

準備金九百卅六圓廿錢
特別積立金五百圓、役員員退職給與基金五百圓、配當金四千九十四圓廿七錢(出資拂込濟の年四分)役員賞與金五百六十圓

災害復舊で

二ヶ所本日入札

近く堤防と道路の欠壞改修

本廿九日午前十一時土木監督所に於て災害復舊工事としての堤防欠壞並に道路欠壞工事の入札が行はれたが左記の如く落札

堤防欠壞 澤渡 宇根子屋地内好間川上流堤防

道路欠壞復舊 田人村南大平地内三株勿來線道

片側五〇米は過般の風水害で欠壞したため災害復舊工事で施工することになり入札の結果平町丸山組が七百五十圓で落札した

路約三〇米は過般の風水害で欠壞した入札は本廿九日中山組に四百圓で落札、何れも十年度中に竣工の見込みである

石城蠶組總會 石城郡蠶業組合總會は二月二日平町平陽女學校で開催組合費分賦其他について協議す

平驛の貨車

押すな押すな

吹雪に惱み入込んで来る

【既報】東北及び北陸線が連日吹雪の爲め貨車の回轉が不能な處から最近常磐線に廻送される貨車激増し平驛には停留貨車が多いので二月一日から廿九日迄平田端、水戸、郡山の三線に不定期貨物列車を運轉して貨物輸送に一層の圓滑を計る事になつた

豚の丹毒

豫防注射

縣衛生課は豚の丹毒豫防の爲め左記日割で豫防注射を執行する

(二月三、四日)平好間
湯本 植田(五、六、七日)
平窪 磐崎 内郷 山田
(八、九日)神谷 渡邊
錦(十、十一日)夏井 高
久泉(十二、十三日)草
野 豊間 勿來 江名
小名濱(十四、十五日)大
浦(十六、十七日)四倉
鹿島 上遠野 玉川 川
邊(十八日)大野

耐寒行軍

コース決定

平第一小學校は明三十日午前十時半校門出發で左記コースで耐寒行軍を催すと

(尋一)校門—女學校前—胡摩澤—歸校(尋二)校門—女學校前—長源寺—胡摩澤—歸校(尋三)校門—胡摩澤—北日町—櫻町—杉平—六間—門歸校(尋四)校門—胡摩澤—北日町—七軒町—久保町—道

寒風を衝いて

處用タイム調査

第三校の新記録八つ

【既報】平第三小學校は廿九日午前十時から全生徒の耐寒行軍を行ひ一年白土八幡神社、二年北白土落合橋、三年夏井專稱寺、四年同如來寺、五年大國魂神社、六年夏井小學校にそれ、寒風を衝いて行進したが一名の落伍者もなく所用タイムでは八つの新記録を出したが各學年のタイム左の如くである。

學年	男	女
一年	二〇分二六分	
二年	四〇	四〇
三年	四六	五一
四年	五五	六〇
五年	五四	七一
六年	八〇	九〇

試掘願が

相變らず多い

引續く黒ダイヤ景氣に常磐地方一帯に亘り地元諸炭礦始め其他企業者が絶えず新礦區の試掘を出願してゐるが廿九日附許可されたもの左の如くである

△東京市荏原區下神田町 只見辰氏出願の田人村地内一五萬五千三百坪
△入山探炭出願小名江名地内九十八萬九千九百坪
△群馬縣碓氷郡碓氷村川上常次郎氏出願の赤井村地下十五萬三千坪
△東京市澁谷區常磐松町水谷三郎氏出願の石住村地下四十七萬七千七百坪

宗正らひた

美味!
芳醇!

山崎合名會社
電話一〇番

看護婦急派
求めに應じます

平町南町
平看護婦會
電話三〇七

平町人事

△白銀町九 武田良吉氏
男良助さん
回婚 姻

△白銀町九 武田良吉氏
(四二)小名濱町字上町七
一志賀ツルさん(三六)

空前の激戦か

候補者亂立して 早くも定員突破

第三區の立候補は相双から松本孫右衛門、氏家清の兩氏、石城から比佐昌平、鈴木辰三郎、星一の三氏が夫々届出たが更に民政派の銚衛委員で破れた相馬郡鹿島町出身上海華變の勇將植松鍊磨氏が出馬の意志を固め一切を富田中村剛長に托したと傳へられてゐるから空前の大激戦を展開するものと目されて居る

鈴木派

事務所開く

言論戦は一日から石城政友部會が候補者と決定した鈴木辰三郎氏は昨日の大安日を卜して立候補の手續きを済し選舉事務長に辯護士千葉彦治氏を擧げて田屋料理店末廣向側の強口唯七郎氏宅に事務所を設け早くも戦端を開始する事となり二月一日から愈々言論戦に移ると

星一氏出馬

星一氏は昨日立候補の届出を了し雪辱戦に單身馬を乗り出した事務所其他は未定の模様である

古川氏に

公認の運動

石城政友部會の豫選會で破

選挙をへ

檢察打合

平區裁判所清田上席檢察事は明廿日より二日間福島地方裁判所檢察局へ出向、衆議院總選舉の檢察打合を行ふ尙來月四九兩日は宮城控訴院檢察局の同様會議へ出席の筈

神樂打ちの御難

相棒に盗る

小名濱町某木賃宿に本月上旬から滞在した西白河郡忍村生當時住所不定ルンペン小野源七(七)は同宿中懸意になつた入遠野村大字上根字荒上平四神樂打平子安吉に取り入り神樂打の相棒になつて各地を歩き、内郷村大字綴驛前木賃ホテル二瀨屋に投宿中廿八日午後七時頃平子が頭痛で臥床し居る隙をねらつて商賣道具の獅子頭並に衣類等價格約廿四圓餘を窃取逃走し平子から平署へ願ひ出た

湯本出初式

湯本町

湯本町消防出初式は本廿九日午前九時より同町温泉神社境内で舉行された

早合點して傷害

伴に加勢する積りで ツルハシを振ふ

傷付けて

自動車逃走

飯野村大字上高久字八海一二農大和田重成(九)は廿八日午後五時半頃玉川村への年始の歸途、泥酔して自轉車に乗り湯本町辰之口地内國道通行中平町方面から疾走してきたトラックにふれ

明日のラジオ

今晩の部
後六〇〇 子供の時間
傳説物語「蟹澤寺縁起」淺野信二郎
後七三〇 講演「日本人の食餌の缺陷に就て」醫學博士島蘭順次郎
後八〇〇 ラヂオドラマ「阿古耶」松劇團
後八二五 管絃樂合唱

明日の部

附日比谷公會堂より中繼武藏野音樂學校生徒新交響樂團
後八、四〇 連續ラヂオ小説「雪之丞變化」四守田勘彌
後九、〇〇 琵琶元冠 濱田晃養
後九、三〇 時報ニュース
氣象通報 番組豫告

平裁判たより

石城郡錦村大字中田字糖塚貨車積卸夫納谷民治(三)は舊臘廿日午後五時頃和和人絹貨物積卸場で同僚の金成繁が悪戯をせんとし貨車へのみ板を外したのに憤慨傍にあつたモッコ棒で同人を毆打し全治十日間の重傷を負はせた事件は今廿九日平區中島判事より略式罰金三十圓に處された

男女工見習

右至急募集す

- 希望者來談あれ
常磐毎日印刷會社
長橋町 電話六三〇
- △上工夫 卅一才 尋卒
 - △トラック助手 廿四才 尋卒
 - △集金人 四十六才 高卒
 - △人絹工場 廿八才 高卒
 - △鐵工 廿一才 尋卒

少年剣士の譽れ

第一校の紅白試合
既報平第一小學校が昨廿八日舉行した寒稽古納會剣道紅白試合の三人抜以上の譽

平職業紹介所報告

人を求める方

- △女中 卅才迄 月給五圓
- △女中 四十才迄 月給五圓
- △トラック助手 卅才迄 月給四圓
- △月給四十圓 外住宅給
- △小店員 廿才迄 月給五圓
- △配達 十七才迄 月給四圓
- △飲食店雜役 廿才迄 月給五圓
- △女工 廿才迄 月給七圓
- △柏入夫 卅才迄 月給十圓

結ぶ瓦解の謎

悟道軒圓玉(作)
尾至陽(畫)



三四 お花のてびき

おはなは兄の土井定次郎が當時公儀の隠密方をつとめてゐると聞いて吃驚した御老中の内命を受けて江戸市中に居る浪人者の舉動をさぐる、今で申すと高等視察。

はな「わたくしがお世話したそのお客様は」

定「それは何處へかくしたその忍んでゐるところを話してくれ」

はな「その人はね、浪人者ではないんですよ、旦那に別れて後わたしが浮氣をして夫婦にならうと約束した……」

定「かくすな、今お前には旦那はなからう、想つた男があるならばそれと夫婦になればとて故障をいふものはなし、また死んだヒューズケンが恨みをいひに出ることもなからう、のうおはなお前がかくしたその男は掘織部正の家來三島三郎だ、これも證據のあることだ、何處へ行つたかそれをいへ、長六の話に依ると行つた先は向島のことだが、向島は何處だ」

はな「見さん、たとへ縁は切れたにせよ、お前とは

血を分けた仲この事は聞いておくんなさるな」
定「勝手なことをいふな、俺の方から縁を切つたわけではなからうお前のやうな兄さんがゐては行末が心配



分けた兄妹だこの事を聞いてくれるな、見のがしてくれとはそれは我まゝだと思ふが」
はな「さうでもありませんが、こは助けてくださいナ、その代りお前さんにはお金をあげますよ」
定「縁の切れたお前から金ほもらへぬえ」
はな「あ、何うしたらいいだらう」
定「おはなは思案に沈むそれを見て定次郎が」
定「オイ何とかいへ、今も

になるから縁を切つてくれ、てめえの方から頼んだことだ不人情な奴だとは思つたが、たつた一人の可愛妹の出世の妨げをしてはよくなからうと、一休俺は涙もろいから縁を切つてやつた、それを今になつて血を

いつか通り三島三郎、しのでゐるところを云へば市のさかえるンダ、いはねばお前に縁をかけて町奉行につれて行き、いたのにつけてもいせねばならぬえ、しかしそんなことをたくもなし、お迷惑なら

ねえやうにしてやるから三郎の居るところをいへ」と追られてホツと吐息をもらしたおはな
はな「見さん、モシ土井の旦那、それでは三島さんのゐるところを、あの人にはすまないが」
定「白状するか、何處にゐる、イヤさ何處に忍んでゐる」
はな「わたしが案内をするから一緒に行つておくんない」
定「さうか、して向島は何處だ」
はな「秋葉様のそばなんだよ」
定「秋葉の近所だと、あの邊には別荘ばかりだが、それはうそではなからうな」と言ひつゝおはなの舉動に目をつけた。
はな「しかし土井さん、三

島さんの居るところは知らせるがわたしだけは助けておくんない」
定「よしそれは承知した、ヒューズケンを殺したあの三島三郎、それをかくまへば大罪人だが、そこはお前とは血の通つて居る仲だ、迷惑にならぬ様にはしてやるぜ」
はな「それでは今夜お前さんを三島さんの居るところへ連れて行くが、知つての通りあの人は腕も出来ゐるから油断をすると怪我をしますよ」
定「三島に何れ程の腕があるとも俺も一刀流の免許を得たものだ、まさか彼奴のために命をすてるやうなこともなからう、ではお花支度をしろ」
と急ぎ立てられてお花はきつと決心した。

難波

内科一般

醫學博士 難波 陸

看護婦募集

平町大町新川端 電話五〇二

院

耳鼻咽喉科専門

鈴木 醫院

醫學士 鈴木 正男

平町田町 (電話五八番)

藤田女學校前

自炊のお需めに應ず
入院の便あり

お年始のお客様に

魚清のサービス

さしみと御飯 吸物おしんこ付

二十五錢

三品 五十せん

五品 八十せん

平ニ警察署通り

魚清 食堂

電話六三三

時代の要求

皆様の足?

尼子タクシーへも豆タクが入りました

御支關から支關へ 迅速簡便 是非御利用を

市内 三〇錢

市外 四割引

流線型セダン

大型貸切バス

宮行——直通は二丁目尼子自動車部より發車いたします

平町二丁目

尼子自動車商會

電話六四〇番

和漆器家具は 和久井屋

平町二丁目 電話五〇五番